

学園の使命

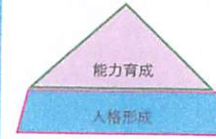
青和学園は、変化が激しく予測困難な時代であっても、子どもたちが他者のせいにすることなく、自分の人生の目的・目標を主体的に考え、自らの可能性を発揮して、よりよい社会と幸福な人生を創り出していくことができるよう、コミュニティ・スクールとしての特色を生かしながら義務教育9年間の系統性を確保し、必要となる「生きる力」を教職員、家庭、地域

相模原市立青和学園 学園経営グランドデザイン 2026

《学園・地域の教育目標》

自他と地域を愛し、目的と希望を持ち、目標に向かってたくましく生きる、自立した学園生

自立した学園生育成のための基本的な考え方と指導3原則



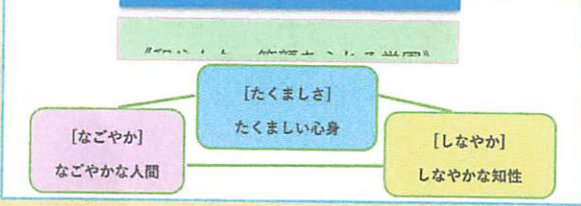
- ・挨拶をする
- ・時間を守る
- ・身の回りを整える

青和学園の特色ある教育

- ◇コミュニティ・スクールの特色を生かし、学園生や地域の実情等を踏まえ、義務教育学校9年間の系統性を確保した、学園・地域の教育目標を実現するカリキュラム・マネジメント
- ◇地域とともにある学園づくりと学園を核とした地域づくりを実現するために、学校運営協議会と地域学校協働活動とが連携・協働
- ◇ESD（持続可能な開発のための教育）を推進し、SDGs（持続可能な開発目標）の達成をめざす教育実践
- ◇学園独自のキャリア・パスポートを活用した保護者とともに学ぶ学園生とのキャリア・カウンセリング
- ◇ICTを効果的に活用した授業や家庭学習
- ◇1年生からの外国語教育実施及び国内外の学校等との交流を通じた実践的なコミュニケーション能力の育成
- ◇地域と連携・協働するキャリア教育



学園キャッチフレーズ



めざす学園像

- 学園生が自己有用感を持ち、生き生きとしている学園
【お互いが認め合い、励まし合って楽しく過ごせる笑顔あふれる学園】
- 学園生の幸福な未来を実現するために、家庭・地域、教職員が連携・協働する学園
【教育活動の目的・目標を共有し、家庭・地域と一体となり学園生を育成する学園】
- 地域に開かれ、持続可能な地域社会の形成のために貢献する学園
【学園生が、多様な人々と関わりながら、地域の活性化に貢献する学園】

めざす学園生像

- 目標実現のために、主体的に考え判断し、行動できる、たくましい学園生
- よりよく生きるために、相手意識を持ち、周囲の人たちと協働できる、なごやかな学園生
- 広い視野を持ち、持続可能で平和な社会・地域の創り手として活躍できる、しなやかな学園生

めざす教員像

- 学園生・地域への愛があり、教員としての誇り、情熱、使命感がある教員
- 自らがアクティブ・ラーナーとしての自覚を持ち、新たな学びに対応できる資質、知識・技能を有し、実践的指導力がある教員
- 学園生・家庭・地域から信頼を得られる豊かな人間性とコミュニケーション能力を有し、同僚、家庭・地域をはじめ多様な組織等と連携・協働できる教員

9年間の教育課程を3つの段階に分けたステージ制の導入

各ステージにおける指導の重点等

- ◇第1ステージ【学びの基礎の定着】（1年生～4年生）
 - *後期課程教員による前期課程授業への乗り入れ指導
 - 保育園等との円滑な接続
 - 非認知能力の育成
 - 学習習慣や望ましい生活リズムの定着
- ◇第2ステージ【学びの充実】（5年生～7年生）
 - *後期課程教員による前期課程授業への乗り入れ指導（5、6年）
 - 興味・関心や自己評価に基づく学習課題の自己決定
 - 非認知能力の育成
 - 7年生への円滑な移行
- ◇第3ステージ【学びの深化】（8年生～9年生）
 - 個性と能力の更なる伸長
 - 上級学校や外部人材などを活用した発展的な学習の充実
 - 非認知能力の育成

地域社会に開かれた教育課程を編成し、コミュニティ・スクールの特色を生かしたキャリア教育の実践

- 義務教育9年間の系統性・連続性を重視しながら、発達段階の縦のつながり及び教科等横断的な視点から、地域社会に開かれた教育課程を編成
- 学園独自のキャリア・パスポート（Say “和” 未来へのコンパス）を活用しながら、学園での学習と自己の将来との方向性を関連付けて学ぶことに見通しを持ち、粘り強く取り組む、たくましさの育成
- 「めざす学園生像」を家庭・地域と共有し、「未来を切り拓く力」を育てるために、地域における協働活動や体験活動の実施
- 全学年で、保護者とともに学園生とキャリア教育の視点で行う面談（キャリア・カウンセリング）の実施
- 卒業時、義務教育9年間の学びの成果や自己の成長などを振り返り、自己の将来像などの発表

ESDの学びを基にSDGsの達成と関連付けた生活科、総合的な学習の時間「Say “和” タイム」の実践

- 持続可能な社会の実現に向けて、地域の人々や社会、自然に興味・関心を持ち、自らが設定した課題の解決のために、主体的・協働的に取り組む学習
- 各教科等で学んだ「知識・技能」や「思考力、判断力、表現力等」を活用・発揮し、課題を自己の生き方との関わりで考え、地域社会に貢献する実践
- ◇第1ステージ【身近な地域を知る】（1年生～4年生）
 - ・まちたんけん
 - ・地域の職場見学等
- ◇第2ステージ【地域との協働】（5年生～7年生）
 - ・地域の事業所の方などによる出前授業や地域との協働活動
 - ・地域紹介パンフレットなどの作成
 - ・地域の事業所での職場見学・体験
- ◇第3ステージ【地域との協働・情報発信・貢献活動】（8年生～9年生）
 - ・地域への貢献活動
 - ・地域や区内の事業所での職場体験学習
 - ・地域活性化など社会貢献を企図したアントレプレナーシップ教育



主体的・対話的で深い学びの教育実践

「何のために学ぶのか」という意義を学園生と共有し、指導者は、教える場面と学園生に思考・判断・表現させる場面を効果的に設定する。また、「あなたはと思うか」「なぜそう思うのか」等の問いかけを大切にしながら、学園生が、学習内容を自らの力で理解し、根拠や理由を明確にして表現したり、学んだことを振り返ったりする授業を基本とする。

《授業で重視する学園生の姿》

- 自分と他者の意見や考え方を比較するなどして、新たな気づきがあり、考えを広げたり深めたりしている
- 見通しを持って学習に粘り強く取り組み、身に付いた資質・能力を自覚したり、他者と共有したりしている
- 問題解決的・探学的に学ぼうとしており、あらゆる場面で思考・判断・表現を繰り返しながら、自己が変容する学びをしている